

これだけ知っていれば記事はつくれる！ ウィキペディアタウン仕様〈ウィキペディア編集マニュアル〉

1 アカウントを取得しましょう

ウィキメディアのアカウントは、全姉妹プロジェクトで共通です。

アカウントを取得すると、自分の編集履歴が蓄積され、下書きを作成することができるようになります。また、ウィキメディア・コモンズに画像をアップロードすることが可能になります。

アカウントは、無料で作成できます。ウィキペディアの画面右上「アカウント作成」をクリックし、利用者とパスワードを設定します。本名は避けたほうが無難です。

2 編集方法は2種類

(1) ビジュアル・エディター

閲覧画面と同じ状態で、文章などを編集できるモードです。書き終えた記事の内容確認や、誤字脱字を読みながら修正したり、内部リンクを付けたりするのに便利です。

ただし、同時に複数人で1つの記事を編集することはできません。(編集競合します。)

(2) ソース・エディター

すべての情報をマークアップで編集するモードです。ビジュアル・エディターより詳細な指定ができるので、新規項目の作成ではこちらが便利です。ただし、内部リンクは「あいまい回避」に入ってしまうことも多いので、他記事とのリンク付けだけは記事作成後にビジュアル・エディターで挿入するのが楽でしょう。

「節」単位で編集を分担すれば、同時に複数人で編集しても競合しないため、イベントではこちらの編集方法がおすすめです。

3 出典の付け方(ソース・エディターの場合)

文章と句読点の間に、その文章の出典情報を記述します。(～である。)

出典は、原則1文ごとに記述します。

出典のマークアップ方法はいくつかありますが、ここでは一番簡略な入力方法を紹介しておきます。

(例) 出典が書籍の場合に必要な書誌情報

`<ref>著者名『書名』出版社、出版年、〇ページ</ref>`

(例) 同じ出典を複数個所に付ける場合

1か所目 `<ref name=名前>書誌情報</ref>`

2か所目以降 `<ref name=名前/>`

Web出典

アドレス

タイトル

発行者

日付

入力完了 入力内容を消す

作った人: 利用者:Marine-Blue (Twitter: @marineblue1223)

「ウィキペディアタウン 出典タグ生成」でウェブ検索すると、自動でより本格的な出典ソースを生成してくれるページもいくつかあります。適時活用しましょう。

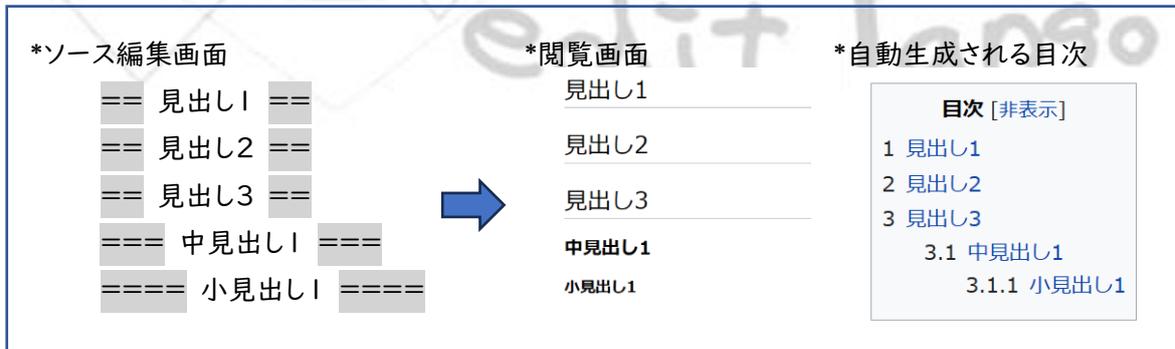
4 記事を編集する(ソース・エディターの場合)

(基本の文章表現)

- 1文目は「'''記事名'''(よみがな)は、〇〇である。」の形式で、冒頭に記事名を'''太字'''で書きます。ちなみに' 3 つで囲んだ言葉は太字になりますが、2 つだと'斜体'になります。
- 「である」「される」調で書きます。(「です」「ます」調は×)
- 敬称、尊称は使用しません。(「さん」付け不要)
- ソース記号は、すべて半角で記述します。(本文内のカッコは全角で書きます。)
- 数字は、半角のアラビア数字(1,2,3...)を使用します。
- 単位は、カナ・漢字で記述します(キロメートル、平方メートル、等)。単位記号は使いません。
- 年号は基本的に「西暦〇〇〇〇年(和暦〇〇年)」で記述しますが、江戸時代以前の日本の題材の場合は和暦(西暦)でも構いません。
- 改行するときは、段落の間に1行空けます。(「ENTER」を2回押す。)
- その題材に無知な中学生に説明するつもりで、必要な情報を補いながら記述します。
(一般的でない情報や専門的な単語は、説明を補足する。)

(1) 見出し「節(セクション)」を分ける

- 半角記号のイコール(=)2つ〜で見出し語を挟むと、「節」になり、目次が生成されます。
- 複数人でひとつの記事を編集するときは、編集したい節の横に表示される(編集)というボタンをクリックし、編集画面に(節単位)と表示されていることを確認してから、編集を開始しましょう。
- =2つで大段落、=3つで中段落、=4つで小段落となります。



〈イベントで役立つ便利設定〉

通常、記事冒頭のインフォボックスと見出し文のところは、「節」がありません。そのため、複数人でひとつの記事を編集しているイベントでは、このインフォボックスの修正は記事全体の編集になってしまい、編集競合を引き起こすので、イベント中は控える必要が生じます。

そんな時は、個人設定>ガジェット>編集補助で、「ページ先頭のセクションに [編集] リンクを追加する」を有効にしましょう。インフォボックスと見出し文も、編集競合することなく節編集することができるようになります。

5 画像を挿入する

(1) 写真をアップロードする(ウィキメディア・コモンズの場合)

ウィキペディアの記事に使用される画像の多くは、ウィキメディア・コモンズという姉妹サイトにアップロードしたものが引用されています。自分で撮った写真を使用するほか、すでに誰かがアップロードしてくれている写真を検索し、ウィキペディアに引用して使うこともできます。

新たに写真をアップロードしたいときは、ウィキペディアの画面左側のメニューから、「アップロード(ウィキメディア・コモンズ)」を選択し、画面の指示に従って画像情報を入力し、アップロードします。

写真をアップロードするときの注意

- 一度アップロードした写真の取り下げやファイル名の変更は、基本的にできません。
- 個人を識別できる顔が映っているような写真のアップロードは控えましょう。特に、ウィキペディアイベントの集合写真は、悪質なユーザーによって参加者を誹謗中傷する目的に流用されている実態があります。
主催者の記録として撮影・使用することと、どのような目的にも流用できるウィキメディア・コモンズにアップロードすることのリスクは同じではありません。
- 看板の文字や商標には製作者の著作権があるので、これらをメインで撮影した写真は使えません。風景に映り込んでいる程度であれば、使用できます。人物の映り込みについても同様です。
- 有効なカテゴリを1つ以上は、必ず付けましょう。カテゴリが無いファイルは、1週間程度で削除されます。
- カテゴリは、英語またはローマ字表記で作成します。
すでにある写真のカテゴリに適切なものがあるかどうかは、例えば名古屋市の登録有形文化財であれば[[Category: Registered Tangible Cultural Property of Japan in Nagoya]]など、同じジャンルですでに登録されている写真の詳細情報から、カテゴリを参照すると良いでしょう。

(2) 写真をウィキペディアに挿入する

ウィキメディア・コモンズにアップロードされた写真は、写真の詳細情報を開くと、「Wこのファイルを利用」というアイコンがあります。これをクリックすると、ウィキペディアの本文に挿入する写真のソースの基本形を取得できます。



- 記事の右側にサムネイル写真を挿入する場合 ⇒ [[File:ファイル名|thumb|写真の説明]]
- 記事の右側に、250pix の写真を挿入する場合 ⇒ [[File:ファイル名|thumb|250px|写真の説明]]
- 記事の左側に、写真を挿入したい場合 ⇒ [[File:ファイル名|thumb|left|写真の説明]]
- インフォボックスに写真を挿入したい場合

インフォボックスによって微妙に記載方法が違っているため、参照先を真似る。

- 小さな画像を並べてギャラリーを作りたい場合

```
<gallery>
```

```
File:ファイル名①|写真の説明①
```

```
File:ファイル名②|写真の説明②
```

```
</gallery>
```



(3) 表やグラフ、地図をウィキペディアに挿入する

説明はとてもややこしいので、表やグラフや地図のある記事のソースをコピーして書き換えるのがおすすめです。

地図は、画像として掲載されている場合と、オープンストリートマップ^o (OSM) を引用して表示されている場合とがあります。

6 新しい記事を作成する

ウィキペディアの検索窓に、作りたい記事の記事名を入力し、検索すると、記事がない場合は赤リンクになります。この赤リンクをクリックすると、新規記事作成画面になります。

記事名は、正式名称を基準としつつ、世間一般の認知度の高い言葉を選びます。同じ名前のもものが複数ある場合は、「〇〇 (企業)」などの曖昧回避を付記します。詳細は「Wikipedia:記事名の付け方」を参照してください。

ウィキペディアの項目の基本形は、次のような構文になります。

① インフォボックス

無い記事もありますが、同分野の記事を参照して、適切なインフォボックスがあれば使用しましょう。「Category:基礎情報テンプレート」を検索すると、適切なインフォボックスがあるかもしれません。

② 項目の要点を端的に説明する、見出し文(定義文)

この部分の文章が、その項目を Google 等で検索したときに引用される、ページの紹介文章になります。数行程度の簡潔・明瞭な文章で、項目の特徴を説明しましょう。

③ == 歴史 == や == 建築 == などから始まる、節ごとの視点で項目を解説する本文

④ == 脚注 == 前述の4(4)のソースを書きます。

記事の最後に参考文献一覧を記載しているのに、「出典が付いていません」と指摘されたりする記事は、各文章に脚注が付けられていないことが理由です。面倒でも、できるだけ1文ごとに入力しましょう。

⑤ == 参考文献 == 出典に使用した文献を箇条書きで書きます。

⑥ == 外部リンク == ウィキメディア・コモンズのカテゴリや、公式サイトへのリンクを列記します。

⑦ {{DEFAULTSORT:てふおるとそおと}} デフォルトソート。記事名を清音で記載します。

⑧ [[Category:〇〇]] その項目の件名を列記します。同分野の既存記事を参考にするといいです。

7 困ったときは

ウィキペディアの画面の左側にあるメニュー画面から、「ヘルプ」を参照しましょう。記事の編集方法や基本の方針など、解説しているページがあります。

また、もし著作権侵害や誹謗中傷の書き込みなど、ウィキペディアに関わり対処に困るようなことがあったら、相談できる井戸端等もあります。(ただし、ウィキペディアは個人有志のコミュニティであり、きちんとした組織ではないので、ウィキペディアそのものに責任者はいません。他の利用者のコメントはあくまで参考程度に、最終的には自分で各方針ページを確認して判断し、対応するものと考えましょう。)

8 ウィキペディア編集をはじめる前に

ウィキペディアは「百科事典」です。第三者に検証可能な複数の出典に基づき、中立的な観点に立ち、私情や独自研究を交えずに編集することを心がけてください。

ウィキペディアには、編集活動にあたり、絶対の「ルール(規則)」はありません。ただし、全ウィキペディアのすべての編集者が守るべきと推奨される「指針」はあり、その守るべき度合によって「方針」「ガイドライン」「私論」に大別することができます。とりあえず覚えておきたいこととして次の2点——ウィキペディア日本語版で多くの利用者に支持されすべての利用者が従うべきと考えられている「方針」と、多くの利用者が支持する最善のやり方とされる「ガイドライン」は、尊重しましょう。

〈これだけは読んでおきたい! 重要な方針〉

- Wikipedia:ウィキペディアは何ではないか <https://w.wiki/csJ>
- Wikipedia:五本の柱 <https://w.wiki/4eZ>
- Wikipedia:検証可能性 <https://w.wiki/3JVc>

このほかに、一部の編集者が意見や助言を記載した「私論」や、各プロジェクトメンバーからの「提案」など、その通りにしなければならないという強制力はないものの、一定の方向性を示唆するものがあります。

もし、ウィキペディア内の第三者から何かを指摘された場合は、誠実に回答することが必要です。ただし、指摘した人が必ず正しいことを言っているとは限りません。まずは落ち着いて、関係する Wikipedia の「方針」または「ガイドライン」を確認しましょう。

9 その他の情報

図書館総合展に「ウィキペディア展覧会」として、ウィキペディアタウンや Wikipedia 記事の二次活用事例など、お役立ち情報を集約しています。ぜひご覧ください。<https://www.libraryfair.jp/booth/2023/167>

2023. 10. 1

Wikipedia user:漱石の猫(伊達深雪)

連絡先:たんご百科事典 <https://onl.bz/uXC2rgE>

(本資料は CC BY 4.0 で提供します。)